

管理下でない核燃料物質の発見に係る報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

原子力規制委員会 御中

▲□株式会社

発見された核燃料物質について

・概要

▲□株式会社▲□△研究所において、発見された管理下でない核燃料物質(×××)の詳細は、以下の通りです。

なお、▲□株式会社▲□△研究所は、国際規制物資の使用許可を得た事業者ではないため、国際規制物資の使用許可申請、計量管理規定認可申請をすることとしております。

1. 発見日時

(1) 令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時頃

2. 発見場所

住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇

(1) ▲□株式会社▲□△研究所

〇〇室 〇〇保管庫内で下記写真(a) ×××を発見しました。

写 真

(2) 放射線量率については、「5. 発見した物質の詳細」に記載しています。

〇〇室(中心) ××μSv/h

〇〇保管庫前 ××μSv/h

放射線測定器をご準備できない場合には、放射線量率の記載は不要です。

①日付けは、原子力規制委員会への管理下でない核燃料物質の発見の第一報をした日付け以降の任意の日(提出する日付)を記載します。

③核燃料物質を発見した経緯、使用許可の有無等を記載します。

②会社名等とあわせて、担当部署を明記して下さい。

④核燃料物質を発見した場所の全景、詳細(保管庫等)の写真を掲載します。別紙に掲載していただいても結構です。

⑤試薬ビンのラベルの記載内容が判別できる写真を貼り付けて下さい。別紙に掲載していただいても結構です。

⑥核燃料物質を発見した場所(保管庫の表面、保管庫を設置した部屋等)の放射線量率を測定の上、記載します。
※放射線測定器をご準備出来ない場合は、記載を省略できます。その旨の記載をお願いします。

⑦核燃料物資を発見した場所の平面図（事業所全体、発見したフロア一）を掲載します。
別紙として掲載していただいても結構です。

(3) 图-1 ○○室 平面图

●:核燃料物質発見場所

⑧核燃料物質を発見した経緯等を記載します。
※購入した経緯の推察も記載してください。

平面图

⑨核燃料物質を発見した後、どのような処理（保管方法、施錠管理）をしたか記載します。

3. 発見に至る経緯

Activity	Hours
Reading	12
Watching TV	8
Playing Video Games	6
Homework	4

4. 発見後の処理方法

Fruit	Number of People
Apple	15
Banana	10
Orange	8
Grape	5
Watermelon	3

⑩発見した核燃料物質の詳細を、わかりやすく表等で記載します。
※放射線測定器をご準備できない場合は、斜線を引き記載を省略できます。

5. 発見した物質の詳細

(1) 令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時頃

放射線量測定機: ○○○○

⑬容器を含む全重量を風袋
込み重量(g)に記載します。

物質名 (ラベル表示名) 核燃料物質の 区分	形状及び 数量	風袋込み 重量(g)	放射線量率 (μ Sv/Hr)		用途	形態	状態	その他
			容器表面	容器か ら1m				
例	25g 容器 ×1 本	74.43	3.7	0.1	試薬	粉末	開封	残量 25g
(1) × × ×								

放射線測定器をご準備できない場合、放射線量率の記載は不要です。

化合物重量から元素重量への換算式

化合物重量○○g×換算率=元素重量約○○.○○g

核燃料物質の区分が劣化ウランの場合は、その理由

⑪ラベル表示名に加え、ウラン化合物の場合には、天然ウラン、劣化ウラン、トリウムのいずれかを記入願います。
天然ウラン、劣化ウランの区別が不明な場合は、天然ウランと記載してください。
複数の核燃料物質を発見した場合は、行を追加し、それぞれについて記入します。

⑫未開封の試薬ビンを発見した場合は、試薬ビンのラベルに記載の重量を核燃料物質の数量とします。重量が不明な場合は、秤量方法、重量の決定(必要な場合)をご確認いただき、重量を決定します。

⑮発見した核燃料物質の現在の保管場所を記載します。

⑯今後、国際規制物資の使用許可を取得した後、保管管理するのか、許可を持つ他の事業所へ移動させる等の方針を記載します。

⑰核燃料物質の発見後に実施した、一斉点検の結果、放射性同位元素(RI)の発見等の有無を記載します。

⑱核燃料物質の発見を踏まえた、再発防止策を記載します。

保管管理責任者

[illegible][illegible]

(e-mail) ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐